

Emmaüsの家

テーマ

各々を活性化できる集いの場

(リサイクルショップ)

1階

所在地

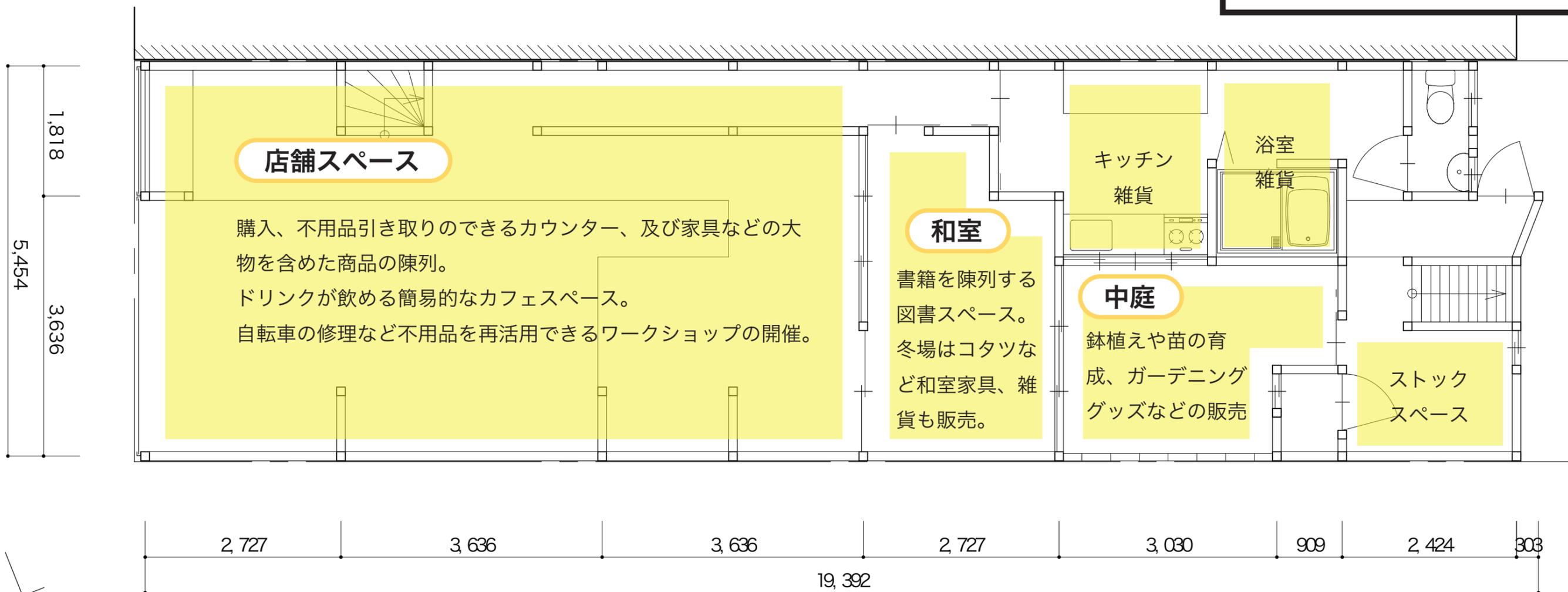
空き家 No.2 (魚津市文化町)

てるてる坊主、風鈴、
風車などでデコる

外観イメージ



開店時はショーウィンドー
シャッターにもペイント



Emmarius

テーマ

ピエール神父(1912-2007)は裕福な家庭に生まれながら、私財を投じて生涯を慈善事業に費やしたフランスのカトリック教会司祭です。フランスでは彼の信念に則った「エマウスの家」が各地にあります。ここでは、不用品を回収し、ボランティアがそれを修復したり価値を与えたりして販売をし、同時にホームレスなど現代社会に何らかの理由で適合できなくなった方に活動の場を与え、社会参加を促し、また団体の活動が活発になれば、雇用も生み出すという画期的なシステムなのです。

「エマウスの家」はその名の通り、多くは古い大きめの一軒家や廃墟となった事業所などを活用します。例えば台所で

は不要品として回収された家具やキッチン用品を陳列し、活動資金源となるように販売を行います。それは台所の可能性にアイデアを与え、不用品と思われたモノに価値を与え、その価値観をどうやって見出させるかに皆でアイデアを凝らすのです。

空家 No.2 では店舗部分でのリサイクル商品の陳列だけにとどまらず、生活空間に入り込んだ商品に付加価値をつけた陳列が可能です。

今日、掲げられている SDGs (持続可能な開発目標) の多数の目標の達成可能な場になりうることができます。

2階

